

学校監査結果報告!

第11支部
学校事務共同実施

静岡市監査委員による報告書の内容についてお知らせします。
今年度は清水区内、小中46校を対象に行われました。

本監査対象校：清水飯田東小、清水庵原中
予備監査対象校：清水高部小、清水第六中（11支部内）
書類監査のみ：他8校（11支部内）

指摘事項10件すべてが 薬品類の管理状況

(指導・注意事項8件)



理科準備室の薬品管理について <8件>

指摘事項：法令、条例、規則等に違反している事項又は経済性、効率性若しくは有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項として、地方自治法の規定に基づき監査結果報告書に記載し、公表するもの

指導事項：指摘事項以外で、軽微な誤りと認められる事項であるが改善を要する事項

注意事項：指導事項よりも更に軽微な誤り等

- ・「薬品使用管理簿」と「毒物・劇物使用管理簿」が別冊になっていない
- ・「一般薬品」と「毒物及び劇物」が同じ保管庫に保管されている
- ・希釈した薬品の容器のラベルに「濃度及び作成日」が記載されていない
- ・数量と管理簿の定期点検が行われていない
- ・薬品保管庫の鍵が、他の鍵と同じキーボックスに保管されている など

農薬の管理について <2件>

- ・「農薬使用管理簿」の記載不備
- ・殺虫剤の種類について管理簿が未作成



指導・注意事項8件

備品の管理状況

- ・備品シールの貼付漏れ
- ・台帳の登録誤り
- ・寄附物品の登録漏れ など

学校内における

指導・

注意事項8件 危機管理体制

- ・特別な理由もなく、事故発生後1週間以内に事故報告書が提出されていない
- ・「学校いじめ基本方針」の最新版が、学校だよりやHPを通じて公表されていない



指摘・指導・注意事項が多い項目を抜粋しました。
自分の学校ではどうでしょうか？
詳細は、静岡市HPで確認できます。



子どもの安全を守るため、確実な対応を!

裏面に、現地調査対象校のアンケート結果をまとめました。

学校監査現地調査対象校向けアンケート結果

教頭先生と事務職員がアンケートに回答してくれました。ご協力ありがとうございました。
監査ってなにをするの？ 監査って怖いのか？ 体験談です。今後の参考にしてください。

監査に向けて対応しておいてよかったこと



- ・夏季休業中に職員作業による校内整備の日を設け、大型ゴミの排出を全職員で行ったこと。
- ☆以下に挙げる点検や管理、整理、確認については全職員で分担し取り組んだ。
 - ・日常的な安全点検管理簿の点検
 - ・日常的な公用書類の一括管理の徹底
 - ・学年室等の整理整頓（備品整理）
 - ・「〇〇〇管理簿」の日常的な点検
 - ・鍵の整備、置き場所の整理、確認

監査に向けて対応不足だったこと



- ・事前に複数回、各課による点検が行われたが、指摘事項が出てしまった。監査事務局は、今までの通達文書を熟知しているため、「これくらいいいだろう」と融通を付けた運用方法は、いかなる理由でも通らない。過去に出された通達、指示通りの管理運用を徹底するべきであった。
- ・理科薬品や農薬の確認を担当外の目で確認すべきだった。

短期間で監査の準備をする上で、

普段から決まり通りやっておきたかったこと



- ・全ての事項に対し、学校側の都合で解釈するのではなく、形式通りの管理運用をする。
- ・普段の備品整理をしっかりと行い、所在不明のものをなくす。使わないもの、古いもの、不必要なものは随時処分し、備品台帳を軽くする。
- ・学校備品と部活動備品の区別をしっかりとしておく。
- ・日頃からの整理整頓。

監査委員とのやりとりを通して感じたこと



- ・学校側の職員との何気ない会話から、問題点をえぐり出し、指摘事項等にあげてくる。
- ・同じ質問を複数の職員に聞き、答えが異なるとチェックされる。
- ・余計なことは発言しない。（監査終了後に、なにげなく質問してきた例もあり）
- ・安全面（生徒の怪我）や危機管理面（理科薬品や農薬）において、誰でも円滑に対応できるように、マニュアルを目に見えるところに掲示しておくよかった。

- ・事前に提出する書類「学校監査資料」が全てのスタートとなるため、確実にもれなく、落ちなく、通達通り整えることが重要。この書類が、予備監査でのチェックや、本監査での校長へ質問する学校説明のベースとなるため、誤りやあやふやな点があると、後に訂正や釈明に多大な労力を使う。
- ・監査の 때가、施設課へ修繕の要望を伝えるチャンス。たくさん修理をしてもらえた。
- ・監査の準備をきっかけに、防災・防犯等の再確認ができた。監査に関係なく、いざという時に必要な知識だと再認識した。

<その他>

「静岡市立学校における危機管理等状況確認シート」

を定期的に活用し、日頃から子どもの安全を第一に考えていきましょう！！